

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年7月20日

上場会社名 NBC株式会社

(コード番号: 3534 東証第二部)

(URL <http://www.nbc-jp.com>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長・石塚昭夫 TEL: 042(582)2411
 責任者役職・氏名 取締役管理部長・阿部仁

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 法人税等の計上基準等
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日~平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	3,571	(6.7)	561	(2.9)	521	(3.2)	319	(4.7)
18年3月期第1四半期	3,348	(4.1)	545	(0.8)	539	(7.1)	334	(4.7)
(参考)18年3月期	12,748		1,956		1,966		1,282	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	35	57	-	-
18年3月期第1四半期	36	66	-	-
(参考)18年3月期	140	32	-	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における世界経済を概観しますと、米国経済は原油高の影響を受けているものの、個人消費や設備投資が引き続き堅調に推移したことから景気は拡大しております。欧州経済も好調な輸出を背景に緩やかではありますが、回復しております。また、アジア経済は中国で景気は引き続き拡大が続いており、その他地域でも景気回復の動きが広まっております。一方、我が国経済も、設備投資や個人消費の堅調さ、又雇用情勢の改善などにより、景気は回復いたしております。

このような経済環境の中、当社製品の得意先関連業界の状況ではありますが、プリント基板業界は、片面基板については生産の海外移転や価格の低迷が続き、依然厳しい状況であります。又自動車部品業界では、国内自動車生産が増加している事や海外完成車メーカーへの拡販が引き続き着実に進んでいることなどから好調に推移しております。

得意先関連業界のこのような事業環境の下で、当社グループは、海外市場への積極的な展開、国内市場の販売力強化、研究開発体制の充実、生産・購買部門における徹底したコストダウンを進めてまいりました結果、販売面では各セグメントとも順調に推移し、連結売上高は、35億7千1百万円(前期比6.7%増)となりました。営業利益につきましては、化成品や防虫網の価格下落の影響はありましたが、引き続き生産革新運動に注力してまいりました結果、5億6千1百万円(前期比2.9%増)と増益となりました。営業外収益及び費用については、インドネシアルピアの変動により為替差損を被り、全体では前期比3千3百万円の営業外収支戻の悪化となり、経常利益は5億2千1百万円(前期比3.2%減)、当期純利益は3億1千9百万円(前期比4.7%減)と増収減益となりました。

(スクリーン印刷用資材)

当社グループの主力製品であるスクリーン印刷用メッシュクロスは、国内において、片面基板生産の大幅減少という外部要因はありましたが、PDP向高精細メッシュや電子部品向は好調であり、全体では横ばいで推移いたしました。海外においては、世界経済の回復と品質の優位性により、北米、中国、韓国向けを中心に売上を伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は14億5千1百万円（前期比 6.5%増）、営業利益は3億6百万円（前期比 7.6%増）となりました。

（産業用資材）

産業資材用途としては、携帯電話用・新規開発品は順調に売上を伸ばしましたが、防虫網は横ばい、印刷OA・生活関連・濾過布用途などは減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は11億1千4百万円（前期比 2.3%増）、営業利益は1億3千6百万円（前期比 2.6%増）となりました。

（化成品）

自動車用フィルターは、価格下落の影響を受けているもののABS（アンチロックブレーキシステム）インジェクター、カークーラー用フィルターを中心として、引き続き順調に推移しております。家電用フィルターも、洗濯機用が売上を大きく増加させました。営業利益については、自動化の推進、生産性の向上に努めましたが、販売価格の下落等により減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は9億1千万円（前期比 11.9%増）、営業利益は1億5百万円（前期比 12.6%減）となりました。

（その他）

その他については、養殖用生けす金網の販売回復により、売上高は9千4百万円（前期比 16.1%増）、営業利益は1千2百万円（前期比 77.9%増）となりました。

（2）財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	20,583	17,272	83.8	1,922 40
18年3月期第1四半期	19,920	16,412	82.4	1,796 93
(参考)18年3月期	20,793	17,224	82.8	1,918 30

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	136	129	358	5,981
18年3月期第1四半期	52	142	255	7,132
(参考)18年3月期	1,169	1,508	568	6,603

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は205億8千3百万円、純資産は172億7千2百万円、自己資本比率は83.8%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては主に売上債権の増加、法人税等の支払により1億3千6百万円を使用し、投資活動においては有形固定資産の取得等により1億2千9百万円の資金を、又財務活動においては配当金の支払で3億5千8百万円をそれぞれ使用いたしました。

これらの結果当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は59億8千1百万円となり、前連結会計年度末と比較し6億2千2百万円減少いたしました。

(3)平成19年3月期 第1四半期の配当状況(個別)

・現金配当

	1株当たり配当金(円)
基準日	第1四半期末
19年3月期第1四半期	-
18年3月期第1四半期	-

添付資料

- (要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書
- (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

以上

[参 考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

[業績予想に関する定性的情報等]

為替レートの変動が当社業績に影響を与える可能性はありますが、現在のところ業績予想の変更はありません。

(注)上記の予想は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値等を確約したり、保証するものではありません。

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1.現金及び預金	5,981	7,132	1,150	16.1	6,603
2.受取手形及び売掛金	4,207	3,812	395	10.4	3,823
3.有価証券	-	300	300	-	100
4.たな卸資産	3,081	2,867	214	7.5	3,108
5.その他の流動資産	559	364	195	53.8	510
流動資産合計	13,830	14,476	646	4.5	14,146
固定資産					
1.有形固定資産	6,161	4,689	1,472	31.4	6,058
2.無形固定資産	44	45	0	0.7	44
3.投資その他の資産	546	710	163	23.0	543
固定資産合計	6,752	5,444	1,308	24.0	6,646
資産合計	20,583	19,920	662	3.3	20,793
(負債の部)					
流動負債					
1.支払手形及び買掛金	991	914	77	8.4	906
2.未払金	285	377	92	24.4	355
3.未払費用	206	442	235	53.3	313
4.未払法人税等	206	221	14	6.7	456
5.その他の流動負債	130	48	82	171.1	32
流動負債合計	1,821	2,004	183	9.1	2,064
固定負債					
1.退職給付引当金	1,333	1,313	20	1.5	1,335
2.役員退職慰労引当金	33	71	38	53.5	31
3.その他の固定負債	121	101	19	19.4	117
固定負債合計	1,488	1,486	2	0.1	1,485
負債合計	3,310	3,491	181	5.2	3,549
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	16	16	-	19
(資本の部)					
資本合計	-	16,412	16,412	-	17,224
負債、少数株主持分 及び資本合計	-	19,920	19,920	-	20,793
(純資産の部)					
株主資本					
株主資本合計	17,291	-	17,291	-	-
評価・換算差額等					
評価・換算差額等合計	40	-	40	-	-
新株予約権					
少数株主持分	21	-	21	-	-
純資産合計	17,272	-	17,272	-	-
負債、純資産合計	20,583	-	20,583	-	-

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	3,571	3,348	223	6.7	12,748
売上原価	2,315	2,126	189	8.9	8,044
売上総利益	1,255	1,221	34	2.8	4,704
販売費及び一般管理費	694	676	18	2.7	2,747
営業利益	561	545	15	2.9	1,956
営業外収益	16	11	4	43.5	35
営業外費用	55	17	37	214.1	26
経常利益	521	539	17	3.2	1,966
特別利益	1	1	0	0.0	165
特別損失	0	0	0	0.0	23
税金等調整前四半期(当期)純利益	523	540	17	3.2	2,108
税金費用	203	205	1	0.6	824
少数株主利益	0	0	0	0.0	1
四半期(当期)純利益	319	334	15	4.7	1,282

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	136	52	1,169
投資活動によるキャッシュ・フロー	129	142	1,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	358	255	568
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	7	41
現金及び現金同等物の増加額	622	338	866
現金及び現金同等物の期首残高	6,603	7,470	7,470
現金及び現金同等物の期末残高	5,981	7,132	6,603

4. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期

(単位：百万円)

	スクリーン 印刷用資材	産業用資材	化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
売上高	1,451	1,114	910	94	3,571		3,571
営業費用	1,144	977	805	82	3,010		3,010
営業利益	306	136	105	12	561		561

前年同四半期

(単位：百万円)

	スクリーン 印刷用資材	産業用資材	化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
売上高	1,363	1,089	813	81	3,348		3,348
営業費用	1,078	955	693	74	2,802		2,802
営業利益	284	133	120	7	545		545